

生徒指導だより

足元から美しく号(第2014-2号)

◆二中には慣れてきましたか？

1年生が入学して早、2週間が経ちました。もうそろそろ1年生は二中に慣れてきましたか？クラブには入部しましたか？中学校に入って、これだけは3年やり切ると決めたことは続けられていますか？今週には授業参観もありました。授業の様子を保護者の方に見ていただきました。今年から、授業の中に「協同学習」を取り入れ、ともに学び合う仲間づくりを目指しています。みんなが伸びゆく授業を、みんなで作っていきましょう。

◆今回もルールの話(今回は足元編)

最近、気になっていることがあります。それはみんなの登校してくる足元です。二中では、くつ、くつ下は以下のように決まっています。(生徒手帳を読んでみましょう。)

ソックスは黒・白・紺のものを着用すること。

履物は体育の授業にふさわしい運動靴とする。

みなさんの足元はどうでしょう？

・くつ下は、モザイク柄のようなものを履いたりしていませんか？そもそも黒、白、紺以外の物を履いていませんか？

・くつは、スリッパのようなかかとのない物を履いていませんか？くつでも「体育の授業にふさわしい運動靴」ですか？

来月には体育大会があります。6月には修学旅行もあります。1学期には校外学習や仕事体験もあります。それに向けて、みなさんの足元から正していきませんか。

今後、期間を設けて、くつ下とくつの確認をやっていきたいと思います。また、なかなか改まらない場合については、ご家庭にも協力を求めさせていただきたいと思っています。

中学校での制服は「ルールを守った服装をする練習」「場面に応じた服装をする練習」の一つです。「カッコいい、カッコよくない」ではなく、「正しい、正しくない」で判断して下さい。制服を正しく着れば、そのままのような儀式にも出ることができる服装になっています。派手な色のくつ下を履いて出席すると、「礼儀知らず」と思われる儀式もありますよね。

まずは足元から美しく。美しい足元で、体育大会の練習に臨みましょう。下のようなかかとのないサンダルや運動靴でないくつ、また絵柄や色つきのくつ下は履いてくることができません。気をつけましょう。

